

PRAEVIDENTIA DAILY (6月12日)

昨日までの世界：ユーロ/ポンドが年初来安値更新

昨日は、米長期債利回りの低下と共にドル/円が一時102円割れとなったほか、ポンドが英失業率の予想以上の低下を受けて上昇したのが特徴的だった。ドル/円は、前日は米長期債利回りの上昇にも拘らず上昇せず、昨日はより小幅な米長期債利回り低下で下落するなど、長い目で見ればレンジ内の動きに留まっているがどちらかという上値の重さを意識させるプライスアクションだ。なお、10日実施の米バージニア州共和党予備選でCantor院内総務が茶会党系のBrat候補に敗れたことから、今後米議会で財政に関する対立が深まるとの懸念も、ドル安材料として意識された可能性がある。

ポンドは、英4月失業率が6.6%と前月および市場予想よりも低下したことから上昇し、対ドルで1.67ドル台半ばから一時1.68ドル台乗せへ、ユーロ/ポンド相場は一時0.8053ポンドへ低下し年初来安値(ポンド高値)を更新した。今後英国では早期利上げに関する議論が高まっていく一方、ユーロ圏では6月理事会で発表された緩和措置が行われていくことから、ユーロ安ポンド高圧力は続くと思われる。

NZドルは本日早朝のRBNZ金融政策決定後にNZドルが上昇した。利上げは25bpsで市場予想通りだったが、声明文で前回4月24日時点では含まれていた「通貨高が貿易セクターの向かい風」「今後の利上げのペースと程度は通貨高のインフレ圧力減殺の程度にも依存する」といった表現が削除されたほか、記者会見でもWheeler総裁がNZドル売り介入に関する質問に回答しなかった模様で、全体としてRBNZがNZドル高懸念を弱めたとの受け止め方に繋がったためとみられる。但し、「現在のNZドルの水準は持続的ではなく、今後はコモディティ価格下落に沿った形で下落する」という見方は繰り返し表明されており、今後RBNZの予想に反してNZドルが上昇するようであれば、再び口先介入が強まる可能性があるとみている。

主要通貨ペアの前営業日比変化率と、連動性が高い金利・株価・商品市況の変化

	変化率	米日2年金利差	米2年金利	日2年金利	米日10年金利差	米10年金利	日10年金利	米株価	日株価	原油WTI	原油Brent
ドル/円	-0.3	-0.01	-0.01	-0.00	-0.01	-0.00	+0.00	-0.4	+0.5	+0.0	+0.5
	変化率	独米2年金利差	独2年金利	米2年金利	独米10年金利差	独10年金利	米10年金利	欧株価	米株価	原油Brent	西伊の対独格差
ユーロ/ドル	-0.1	-0.02	-0.03	-0.01	-0.00	-0.01	-0.00	-0.8	-0.4	+0.5	-0.00
	変化率	英米2年金利差	英2年金利	米2年金利	英米10年金利差	英10年金利	米10年金利	英株価	米株価		
ポンド/ドル	+0.2	-0.01	-0.02	-0.01	-0.00	-0.01	-0.00	-0.5	-0.4		
	変化率	豪米2年金利差	豪2年金利	米2年金利	豪米10年金利差	豪10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
豪ドル/米ドル	+0.1	+0.04	+0.03	-0.01	+0.07	+0.06	-0.00	-0.4	+0.1	-0.1	
	変化率	NZ-米2年金利差	NZ2年金利	米2年金利	NZ-米10年金利差	NZ10年金利	米10年金利	米株価	中国株価	CRB	
NZドル/米ドル	+0.3	+0.00	-0.00	-0.01	+0.04	+0.04	-0.00	-0.4	+0.1	-0.1	
	変化率	米加2年金利差	米2年金利	加2年金利	米加10年金利差	米10年金利	加10年金利	米株価	原油WTI	CRB	
米ドル/加ドル	-0.3	-0.00	-0.01	-0.00	-0.00	-0.00	-0.00	-0.4	+0.0	-0.1	

(注) 為替相場、株価および商品価格は前営業日比変化率、金利は前営業日比変化幅(%ポイント)。

きょうの高慢な偏見：豪雇用統計は英米には続かない

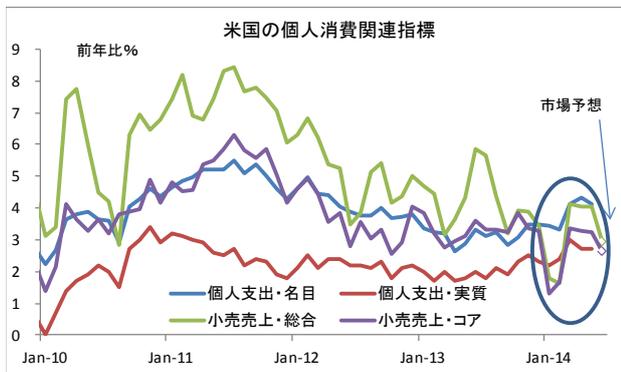
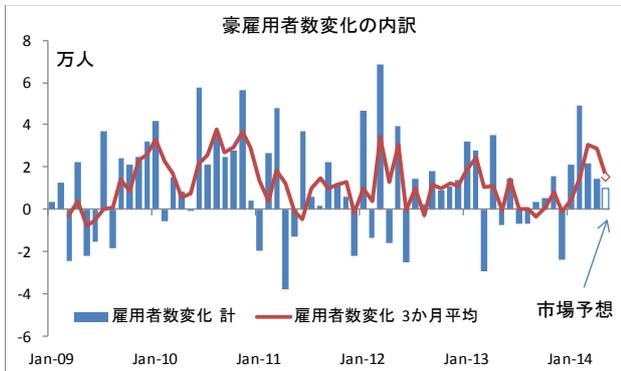
きょうの注目通貨：AUD↓

きょうの指標、イベント	時刻	前期	市場予想	備考
本邦 4 月機械受注・前月比	8 : 50	+19.1%	-10.8%	
豪 5 月雇用者数	10 : 30	+1.42 万人	+1.00 万人	
同・失業率		5.8%	5.8%	
ユーロ圏 4 月鉱工業生産・前月比	18 : 00	-0.3%	+0.5%	
米 5 月小売売上高・前年比	21 : 30	+0.1%	+0.6%	
同・除く自動車・建材・ガソリン		-0.1%	+0.4%	
米新規失業保険申請件数	21 : 30	31.2 万件	31.0 万件	
カナダ中銀・金融システム報告発表	23 : 30			
Poloz カナダ中銀総裁記者会見	0 : 15			金融システム報告について
Carney・BoE 総裁発言	3 : 00			

(出所) プレビデンティア・ストラテジー作成

本日は**豪雇用統計**が注目だ。豪州の他の経済指標と同様に年初は雇用の大幅増と失業率の低下がみられたが、年初の改善ペースは続かないとみられ、今回 5 月分は 1.0 万人へ伸び鈍化が予想されている(下図を参照)。また、豪州では失業率と RBA 政策金利との連動性が非常に高く、過去失業率が低下し始めてから数か月後に RBA の利上げが開始するというパターンがみられたことから注目度が高いが、失業率は過去 2 か月は低下したが、今回は低下が一服する見込みとなっている。このため、豪ドルは豪雇用指標の改善一服から、どちらかという と下落し易いとみられる。

ドル/円関連では米経済の牽引役である小売売上高(特に除く自動車・建材・ガソリンのコア)が注目される。前月比ではプラス幅拡大あるいはプラス転が予想されているが、前年比では前年が高い伸びだったこともあって伸び率鈍化が予想されている(下図を参照)。このため、多少市場予想を上回っても横ばい傾向を変えることにはなりにくいだらう。



ディスクレイマー

当資料は情報提供のみを目的として作成されたものであり、金融商品の売買や投資など何らかの行動を勧誘するものではありません。ご利用に関しては、全てお客様ご自身でご判断下さいますようお願い申し上げます。

当資料は信頼できると思われる情報に基づいて作成されていますが、当社はその正確性を保証するものではありません。内容は予告なしに変更することがありますので、予めご了承下さい。

当資料は著作物であり、著作権法により保護されております。全文または一部を転載する場合は出所を明記して下さい。当資料は購読者向けに送付されたものであり、購読者以外への転送を禁じます。

プレビデンティア・ストラテジー株式会社
金融商品取引業者（投資助言・代理業）関東財務局長（金商）第 2733 号
一般社団法人 日本投資顧問業協会 会員番号 012-02641